



夢花だより

発行元
社会福祉法人なごみ福祉会
夢花事業部
発行責任者 中村 行啓
〒214-0036
川崎市多摩区南生田4-12-3
TEL/FAX 044-976-3703
<http://www.nagomi-yumehana.com>

新年度にあたり

【記事ラインナップ】

- 1P. 「新年度にあたり」
夢花事業部部長 梶山則行
- 2P. 「永年勤続表彰式のご報告」
「カフェ夢花・
バザーのご案内♪」
- 3P. 「夢花工房 はじまりの会」
「研修報告」
- 4P. 「各部門より活動報告」
・ドリームの活動報告
・夢花工房ぼばいの活動報告
・利用者さんの作品紹介
・職員紹介

【トピックス】

【栗谷新ホームについて】

多摩区栗谷に新ホームが、ついに完成いたしました。

1階「生活ホームⅡ」、2階「生活ホームⅣ」です。

敷地全体に通じるスロープの設置も無事に完成いたしました。車椅子の方でもスムーズに出入りする事ができます。

また、市の補助金を受けスプリンクラーを全部屋に設置し、耐震性にも優れた安心・安全設計となっております。

向かいには、昨年建設された

「生活ホームⅢ」、「生活ホームばれっとⅢ」があります。これにより職員との連携もスムーズになりました。

次号で詳細をお伝えします。



道路に面した場所で日当たりも良好です♪

なごみ福祉会のパンフレットには、「ひとりのお母さんの願いから始まりました」と記載されています。障害のある児童と無い児童が共に集う場所としてスタートした無認可保育園が、現在は川崎市と東京都で保育園事業と障害福祉事業を展開する法人となりました。

法人では「共に生きて、共に育つ」という理念を中心に、障害の有無にかかわらず、誰もが地域で当たり前の生活ができる事を目標にした活動を続けて来ました。制度やシステムが無ければ、自分たちで作る努力をしながら、目の前の課題に取り組む事で、それぞれの事業が成長しています。

法人の事業運営は、事業の特性やその発展過程と地域性の違いにより、就労規定や賃金規定も違う事業部制となっています。事業部を越えた人事異動はありませんが、法人としてまとまって活動をする事ができるのは、その出発の時から、法人の理念を大切にして責任を担って来た人と、その活動を必要として、協力と応援をして下さった大勢の人がいたからだと思えます。

夢花事業部も「生活支援センター」として、長沢、生田方面で、障害を持つ人と、家庭の生活を支える為に、制度や決まり事だけでは対応できない事であっても、法人の理念を中心に積極的に取り組む事で、「事業部」となり、理解と協力をして下さる方々のお蔭で、本年度の利用者登録数が事業部だけで400人超、従業員数が140人近くとなっています。

障害者の方が地域の中で暮らす生活の場面では、予想外の出来事が沢山起こり、「利用者の方に教えられながら」そして、「地域の方に支えられながら」事業が進んで来ました。

そのような中で、保育園事業と東京の障害事業に責任を持ちながら、法人全体のバランスを取っていた栗田怜子理事長が、本年3月31日をもって退任をする事となり、4月度から「せせらぎ沿線事業部長・あゆ工房施設長」の飯島克巳理事が新理事長となりました。法人の理念は変わらなくとも、初期の頃から活動の中心にいた方が退任をする事で、大きな節目の時を迎えた気が致します。

なごみ福祉会が法人の設立から今年で36年余りを数え、利用者、職員のそれぞれの事情や状況も変化をしています。また、近年、社会福祉事業に多様な法人が参入したことにより、同じ事業を展開していても、非課税措置を受けている社会福祉法人の存在そのものの意義が問われる事となりました。

その影響などにより、社会福祉法の一部改正が行われ、社会福祉法人における理事会、評議会の在り方と責任が明確に規定をされ、社会福祉法人が果たす社会的な役割と運営方法について、今まで以上に厳格な責任が問われるようになっていきます。

ポイントは「経営組織のガバナンスの強化」「事業運営の透明性の向上」「財務規律の強化」「地域における公益的な取組と実施する責務」「行政関与のあり方」等です。

法人規模が大きくなるに従い、細やかさや、柔軟さを大切にしたいと、難しい場面が増えていきます。決まり事や約束事が増え、組織として地域や社会から信頼を得て、役割を果たすことが出来る体制があるのかを、問われて来るのも「社会の公器」としての責任と期待があるからです。

法人全体が新しい体制でスタートする今年度、事業部の職員一人一人が、法人の理念を中心に、強い自覚と責任感を持ってそれぞれの役割を果たす一年となればと思います。

平成30年4月

夢花事業部部長 梶山則行

永年勤続表彰式のご報告



【 68名の方が表彰されました。 】

3月30日（金）、夢花工房フルールにて、平成29年度永年勤続者表彰式が行われました。この表彰は永年（勤続5年以上）職務に精励した職員を対象とするもので、今回表彰された方は68名でした。全職員140名中68名の方が受賞されました。

表彰式では、理事から表彰状の授与と金一封の贈呈が行われ、永年の功労に対して祝辞が送られました。今回表彰された方々は次のとおりです。

年数	常勤・非常勤	アルバイト
25年以上	2名	－
20年以上	－	－
15年以上	9名	－
10年以上	12名	6名
5年以上	22名	17名
合計	45名	23名



カフェ夢花 & 花笑バザーのご案内

【 カフェ夢花と花笑バザーの同時開催です 】

桜が咲き、お散歩が気持ちいい季節が続きますね。カフェの美味しいコーヒー飲みながら季節をたのしみたいですね♪ということで、今年も夢花カフェを開催します（^v^）また、なごみ福祉会後援会主催のバザーも同時開催いたします。どうぞお楽しみに！



カフェ夢花

- 日時：6月9日（土）13時～15時
- 場所：夢花工房1階「食堂フルール」
- 内容：こだわりのコーヒー、ケーキの販売。
夢花工房オリジナルグッズの販売。



花笑バザー

- 日時：6月9日（土）10時～15時
（※開始/終了時間は変更になる可能性があります）
- 場所：児童デイサービスドリーム「アンサンブル」
- 内容：洋服や食器、カバン、靴などなど。たくさんの商品をご用意しています。必見です！

※例年、開催しています夢花感謝祭は、今年だけ9月8日（土）に変更いたしました。



新しい仲間が3名加わりました。

4月2日（月）晴れた良き日に、夢花工房フルールにて、平成30年度「はじまりの会」が行われました。

今年度は新しく3名の方が入所されました。3人とも緊張した面持ちでしたが、自己紹介をして拍手されると、少しほぐれた表情に。その後、新しい職員さんの紹介と長年勤めた職員のお別れ会の場を設けさせていただきました。

最後は毎年恒例になりました、「風になりたい」と「Believe」を皆さんで熱唱いたしました。「音楽療育でんでん虫」の職員の皆様に素晴らしい伴奏をしていただき、はじまりの会にふさわしい、希望に満ちたひとときとなりました。今年度も夢花工房をよろしく願いいたします。



3人とも所属はオリブになりました★



新しい職員の紹介をさせていただいています



今年の3月で退職される職員から、最後のご挨拶



デイリーの皆様で写真を撮りました！



全員で「風になりたい」を歌っています♪



マラカスや、タンバリン、シェイカーを持って大盛り上がりでした！！



研 修 報 告

ア メ ニ テ ィ ー フ ォ ー ラ ム に 参 加 し て

研修名：第22回アメニティーフォーラム 参加者：5名 主催：アメニティーフォーラム実行委員会

日程：平成30年2月9日（金）～11日（日）

内容：障害者の地域生活を推進していくための、全国的なネットワークを作ることを目的に、毎年2月に滋賀県大津市で行われています。全国から1,500人を超える人たちが参加されます。



フォーラム会場の様子

【 感 想 】

全国から多くの参加者が来られていて、会場の熱気が凄かったです。各法人、施設等の現場でのリアルな実体験に基づいた話を聞くことができました。また過去には無かった現職の厚生労働大臣が来られ、とても貴重な話を聞けました。

今回のフォーラムは主に【福祉業界で働く人手不足について】【障害がある人の地域生活（共生社会）現在～未来への実現にむけた取り組み法律改正について】【行政関係との関わりや福祉や人について誤った考え方を変えてゆく】という内容でした。

障害のある方の可能性を追い求め続け、地域とのつながりや必要性に応じていく事が課題でもあり、そして願いでもあるということ事を、考えさせられました。

文：米山英治

1月～3月活動報告

【ドリームの活動報告】

2018年を迎えてから約3カ月が過ぎ、寒い冬から段々と春を感じる時季となりました。1月～3月に掛けてドリームでは日々の活動に加え、初詣や節分の豆まき、卒業を祝う会等の行事を行いました。共に過ごし、共に成長してきた卒業生との別れを惜しみつつ、新年度の始まり、そして新たな出会いを笑顔で迎えていきたいと思ひます。

文：小幡羅以人



【夢花工房旅行の活動報告】

3月13日に日帰りで山梨県に行ってきました！豪華なランチが目玉で、利用者様も職員も胸元に紙ナプキンを付け、慣れないナイフとフォークを使って食べました。メインの牛サーロインのソテーはナイフが必要ないくらい柔らかいお肉でした。

お土産も買い、そこでも甘いものを少し食べ、お腹いっぱいで大満足な旅行でした。

文：酒井舞

哀悼

宝理さん作品 木工製品

【夢花工房はばいと生活ホームを利用していた宝理充康さんが3月5日永眠をされました。ご冥福をお祈りいたします】



定番人気商品のなべしき。主に穴あけ行程で全ての製品に携わっていました。



車のおもちゃは穴あけ、やすりがけ、組み立てなどいくつもの行程をおまかせしていました。



だいぶ以前ですが保育園から受注した棚。達成感が表情からあふれていますね。



宝理さんの「木工が好きだ」という気持ちが無かったら、夢花の木工はここまで続いていなかったと思います。

木工やご自身の趣味のマラソンなどから、たくさんの人とのつながりを広げていた宝理さん。今、天国でもエプロンをして自由にものづくりをして、たくさんの笑顔に囲まれている、そんな気がします。

文：安藤陽子

夢花事業部 職員紹介

①名前(所属) ②特技・趣味 ③一言お願いします♪

イワモト イズミ
①岩本 泉 (女子生活ホーム)

②・人間観察
・みんなを全力で応援すること笑
(高校の時チアリーディング部でした)

③入社して5年がたちましたが、日々慌ただしい毎日を送っています。私は人を観察、分析？するのが大好き？と言うか趣味としています。少しお付き合いをすると、その人がどんな人かなと予測していくのです。合っているか？間違っているか？は別として笑そんな趣味を活かして、これからも利用者さんや職員の方に上手にアドバイス出来る様、心掛けていきたいと思ひます。



編集後記

この3月・4月は、卒業・入学・入社・退職・お引越しなどなど、ご自身をとりまく環境が大なり小なり移り変わっていく方が多いのではないのでしょうか。春は、いくつになっても、出会いと別れの時期ですよね。喜び、期待、寂しさ、不安・・・いろいろなお気持ちを胸に抱かれつつ、お過ごしの方もいらっしゃるのかと思ひます。そんな皆様に海外のことわざを、

「一年の希望は春が決める。一日の希望は晩が、家族の希望は和合が、人生の希望は勤勉が決める」

次号は2018年7月1日発行予定です。